

御前山ビオトープ通信

平成23年11月25日

第35号

発行：御前山ダム環境センター

編集：NPO「美しい田園21」清野

メール：denen21@hb.tp1.jp

ホームページ：<http://w01.tp1.jp/~a071771011/>



目次

- 1 御前山ダム満水
- 2 ビオトープの台風被害状況
- 3 土手の補強工事
- 4 鮭の遡上

【案内図】



1 御前山ダム満水

7月から試験湛水を実施していた御前山ダムは10月21日（金）午後5時頃満水となり、洪水吐から越流が始まりました。

「御前山ビオトープ」はダムの環境対策の一環として平成16年から取り組んできたもので、鱗模様を描いて洪水吐を眺めながら関係者一同感慨深いものがありました。

また、ダム湖の水位が上がると、空や対岸の山が湖面に映り、周辺の景観が大きく変化し、見物者も多くなりました。

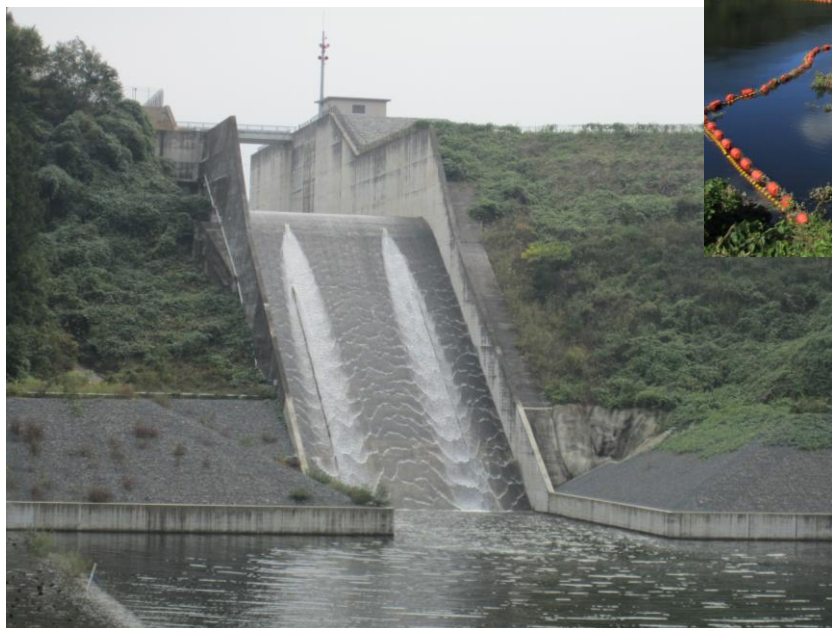
ダム湖周辺の山林を「日本一の山桜の森」にしようという構想も、水面が現れると現実的にイメージできるようになりました。



湛水前：7月



湛水後：10月



2 ビオトープの台風 15 号被害状況

9月21日(水)の台風15号は茨城県を直撃し、各地で被害をもたらしました。

御前山ビオトープも洪水のために3箇所ほど土手の崩壊がありました。田んぼが流されるほどではありませんでした。10月4日の稲刈りの際に現地を確認すると、前回の育成作業で危険部に杭と石で補強したことで致命的な災害は回避できたようです。

真夏の暑い中で石積み作業に汗を流して頂いた皆さんに改めて感謝します。

3 土手の補強工事

10月25日の収穫祭、草取り等育成作業に併せて、先日の台風で崩壊した土手の補強作業を行いました。

市役所から布団籠と石材など材料の提供を受けて直営施工を行うことにしました。いくら人数が多くても石材の運搬と詰め込み作業は大変な重労働でした。昼食後も含めて頑張ってください、最も危険と想定された最上流と下流2カ所の補強がほぼ完成させることができました。ボランティアの皆さん!大変お疲れさまでした

11月24日(木)は引き続き中間地点の土手の補強作業を行いました。進入路がないために前回の作業で処理することができなかつた箇所です。今回は重機とトラックを導入し、道の補修と運搬路を仮設し、石材の搬入を行いました。昼食

の焼き肉で元気をつけて、何とか午後には完成しました。これで来年の梅雨、台風も安心です。



前回設置した木杭



作業打合わせ



布団籠の設置



4 鮭の遡上

御前山ダムは11月21日の週から放流を開始したため、相川の水量がかなり増え、ちょうど鮭の遡上の時期で、那珂川本川から相川に入ってきた鮭がダム直下の静水池まで遡上し、なかなか迫力のある景色となりました。

この季節は御前山の紅葉も素晴らしい時期なので、一大観光名勝になるかもしれません。

那珂川の御前山橋の上からも気軽に観察することができます。



鮭の遡上